

防災イベントを通じて自衛隊活動をPR 「体験防災フェス In Yabe」



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 佐藤洋一陸尉）は、1月17日（土）、横浜市戸塚区の谷矢部池公園で開催された「体験防災フェス In Yabe」を、陸上自衛隊第31普通科連隊と共に支援した。

本イベントは、阪神・淡路大震災の発生から31年を迎えるにあたり、防災意識の向上を目的として開催されたもので、会場では防災にまつわる多彩な体験プログラムが実施された。また、2つ以上の体験をした来場者には、第31普通科連隊が野外炊具1号を使用して調理したチキンカレーが振る舞われた。

カレーの完成が近づくと、体験を終えた来場者が香りに誘われて次々と集まり、たつぷりと盛り付けられたカレーを笑顔で受け取っていた。試食した親子からは、「とてもおいしかった」「嫌いなニンジンも残さず食べられた」といった声が聞かれ、感謝の言葉が寄せられた。

会場内の自衛隊広報ブースでは、災害派遣活動の写真展示や、戦闘用糧食・非常用糧食の紹介を実施し、来場者は写真を熱心に見入ったり、実際に糧食を手にとったりしながら、自衛隊の活動への理解を深めていた。

また、同所の広報官に加え、自衛隊横浜上大岡募集相談委員会の会員も来場者対応や広報活動に協力したほか、神奈川地方協力本部長の大谷三穂1海佐も会場を訪れ、広報活動に携わる広報官及び関係者を激励した。

上大岡募集案内所は、「今後も、より多くの市民に自衛隊への理解を深めていただけるよう、地域と密接に連携しながら、各種イベントへの支援を積極的に行っていく」としている。

